アクティブ・サブウーファー

ES150PCH

取扱説明書

この度は、JBLアクティブ・サブウーファー「ES150P」をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品をより良く理解して頂き、正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読み下さい。

harman international
ハーマンインターナショナル株式会社

1.開梱にあたって

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。万一損傷や故障が認められた場合には、直ちにお買い上げ店にご連絡ください。
梱包の中には、以下の内容が納められていますのでご確認ください。

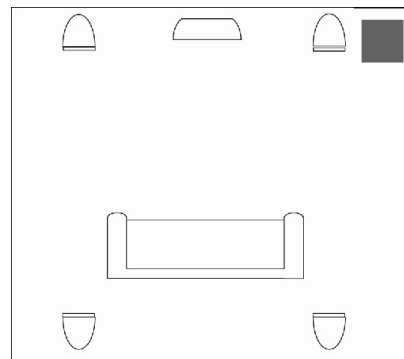
- ES150P 本体
- 4.5m RCA ピンケーブル（1 本）
- 電源ケーブル
- 製品保証書
- 取扱説明書（本書）

カートンボックスに保証書が添付されていますので、内容をご確認の上、大切に保管してください。
オリジナル・カートンボックスは、緩衝材等を含め、開梱後もそのままお手元に保管くださるようお勧め致します。修理などのため本体を輸送されるような場合、オリジナル・カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

2.保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われます。
お買い上げ店の捺印、ご購入年月日などの記載内容をお確かめの上、保証書は大切に保管してください。
過った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

3.設置について

一般的に低音域は指向特性が弱いため、サブウーファーが音像定位に与える影響は少なく設置位置に制約はありませんが、設置場所の環境が音質に強く影響します。サブウーファーを部屋のコーナー近くに設置すると、低音が増強され豊かな低域を味わえる反面、キレの無い鈍い音になりかねません。反対に壁から離して設置した場合は、低域の量感は減少しますがシャープですっきりとした音になります。好みの音楽を実際に再生しながら配置を検討し、最終的な設置場所を決定することをお勧めします。

- スピーカーシステムは耐久消費財です。特に激しい動きが要求されるウーファー部には多くのストレスがかかるため、その実用年数には限りがあります。温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光や直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近く等、高温になる場所を避けてください。又、しめきった車内や直射日光の当たる窓際への設置はご遠慮ください。

- コーヒーカップや灰皿など熱い物を本機の上に直に置かないでください。熱で表面が変質、変形する場合があります。

4.機能と操作

「ES150PCH」リアパネル

①フェイズ(位相)スイッチ

本機から出力される低域信号の位相をコントロールします。本機をメインスピーカーと近接して設置している場合など、低域がスムーズにつながらない時があります。0°と180°の両方で再生して違和感がない方を選択してください。

②インプット(入力)切り替えスイッチ

ご使用のアンプの接続方法に合わせて切り替えます。詳しくは「5.接続について」をご参照下さい。

③レベルコントロール

低域の出力レベルを調整できます。つまみをMax側に回すと低域レベルが増大し、Min 側に回すと低域レベルが減少します。メインスピーカーの音量に合わせ、違和感の無いレベルに合わせてください。

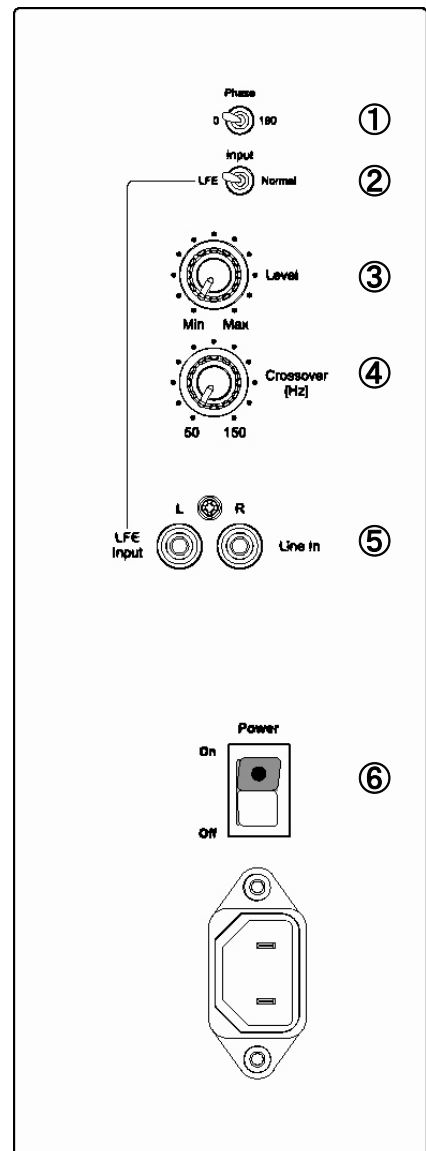
④クロスオーバーコントロール

再生する低域周波数の上限を 50Hz～150Hz の間で調整できます。つまみを「50」側に回すと上限の周波数が低くなり、「150」側に回すと上限の周波数が高くなります。メインスピーカーの低音と本機の低音が違和感無くつながって聴こえる周波数に調整してください。

⑤ライン入力端子(RCA 端子)

ご使用のアンプの接続方法に合わせて「LFE input(L)」端子のみ、又は「L/R」端子両方を使用します。詳しくは「5.接続について」をご参照下さい。

⑥パワースイッチ

スイッチを押すと本機の主電源がオンになります。音声信号が入力されずに約10分間経過すると自動的にスタンバイモードになりLEDランプが赤く点灯します。音声信号が入力されると自動的にスタンバイからオンの状態になり LED が緑に変化します。再度スイッチを押すと主電源がオフになり、LED が消灯します。
本機の主電源を常にオンにしておけば AV アンプからの信号を感知して自動的にスタンバイ/オンに切り替わる入力センサーを搭載していますので、本機にお手をふれずにご使用いただけます。

※入力センサーが信号を感知してから音が出るまで若干のタイムラグが発生する為、ソースによっては音声の冒頭の部分が再生されない場合があります

※ご使用状況や接続する機器によって、スタンバイに切り替わる時間が異なる場合がございます。

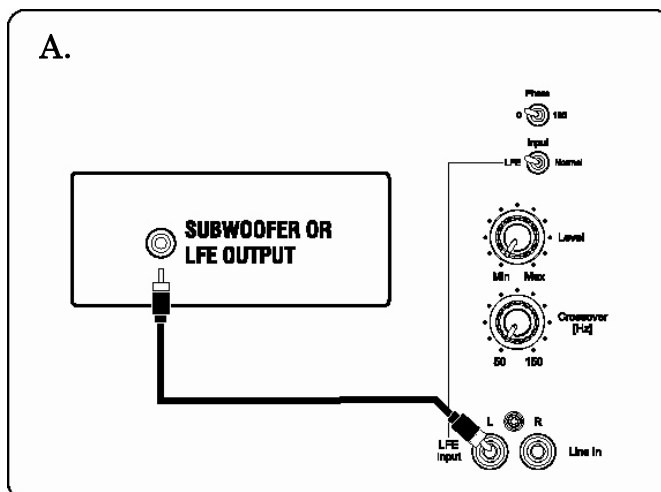
※LED は本機天面、「JBL」ロゴの下にございます。

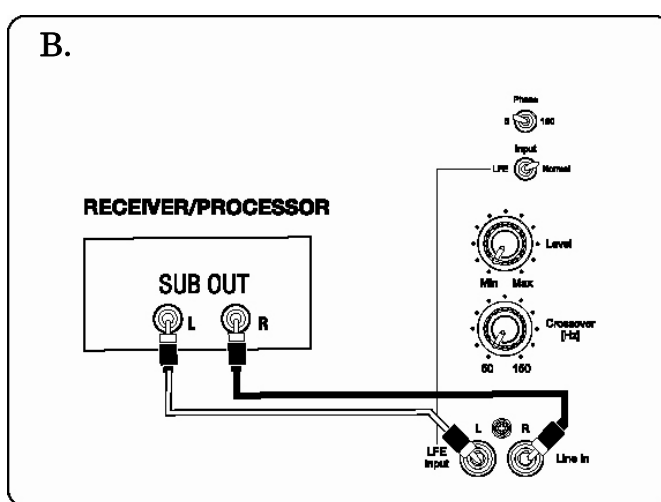
5.接続について

【注意】
本機を AV システムに接続する際、必ず AV システム及び本機の電源をオフにしてから作業を行ってください。電源を入れたまま接続を行うとアンプやスピーカーを破損する恐れがあります。

接続方法は、組み合わせる AV アンプの形式により異なります。以下の説明と図をご参照の上接続を行ってください。

A. LFE 入力による接続

デジタルサラウンド（DOLBY DIGITAL,DTS 等）に対応した LFE 出力を装備している AV アンプの場合、RCA ピンケーブル（1 本）を使用して、アンプの LFE 端子と本機背面の「LFE　input(L)」ライン入力端子を接続し、インプット切り替えスイッチを「LFE」に設定して下さい。
入力された信号は、内蔵のクロスオーバーを経由せずに再生します。本機で調整できるのはレベルコントロールのみとなります。

B. ライン入力による接続

LFE 出力が無く、プリアウトなどボリューム連動のラインレベル出力を持つ AV アンプに接続する場合、RCA ピンケーブル（2 本）を使用して、AV アンプのラインレベル出力端子と本機背面のライン入力(L/R)端子を接続し、インプット切り替えスイッチを「Normal」に設定します。
入力された信号は、内蔵のクロスオーバーを経由してクロスオーバーコントロールで設定した周波数以下の低音で再生します。ボリューム回路も経由しますので本機側でも音量調整が可能になります。
AV アンプ側のラインレベル出力がモノラルの場合、本機への入力は L と R どちらでも構いません。

※本機には RCA ピンケーブルが 1 本のみ付属しております。「B.ライン入力による接続」をする場合は、別途 RCA ピンケーブル 2 本をお近くの販売店などでお買い求め下さい。

6.保守

お手入れの際は、乾いた布で表面を掃くようにして埃を取り除いてください。汚れがひどいときには、薄い石鹸水に柔らかな布を浸し、固く絞った状態で汚れを拭きとった後、乾いた布で拭いて下さい。ベンジン、シンナー、アルコールなどを含む揮発性の薬品で拭いたり、近くで殺虫剤などを散布したりしないでください。

【注意】
スピーカーのユニット表面に埃が着いた時は、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧に埃を払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。

7.アフターメンテナンス

この製品の修理のご依頼は、お買い求めの販売店やお近くの弊社製品取り扱い販売店にお持ち込みいただくか、弊社東京サービスセンターへ直接宅配便などでお送り下さい。弊社からの出張修理や製品引取等は行っておりませんので、ご了承ください。

◆直接弊社東京サービスセンターに送っていただく場合は、「お客様のお名前」、「ご住所」、「ご連絡先」、「ご連絡先」、「故障内容」、「事前見積もりの要、不要」を記載したメモを同封の上、オリジナルカートンに入れるか、輸送中の衝撃に耐えられる梱包状態で宅配便にてお送り願います。（送料はお客様負担でお願い致します。）

ハーマンインターナショナ株式会社
東京サービスセンター
〒135-0033 東京都江東区深川 1-6-29 結城運輸倉庫㈱内
tel.03-5639-3011／fax.03-5639-3044
e-mail:support@harman-japan.co.jp

8.仕様

モデル	ES150P
仕様ユニット	250mmポリプラス・コーン・ウーファー
周波数帯域	27Hz～150Hz
最大出力	300W（rms）/500W（peak）
クロスオーバー	50Hz～150Hz（連続可変、24dB/oct）
寸法（W×H×D）	337mm×475mm×369mm（グリル含まず）
	337mm×475mm×387mm（グリル含む）
重量	17.7Kg